



JBON

淡水魚類調査ブートキャンプ

Freshwater Fish Survey Boot Camp

2026年 **2月7日(土)～8日(日)**

琵琶湖博物館（滋賀県草津市）

定員：20 名

**対象：自然史に関心がある若手
(18歳以上)**

**参加費：博物館入館料2日分
(チケットを確認させていただきます)**

応募締切：2025年12月31日

※ 現地までの移動・宿泊・昼食などは各自で
手配をお願いいたします。

※ 応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

生物多様性に関わるデータ収集や指標作りは、世界的な生物多様性保全のキーワードである「ネイチャーポジティブ」の波及と共に発展しています。一方、生物多様性観測の最前線となる現場では、多くの分類群で人手が不足している現状があります。また、サンプリングや種同定などのフィールド力の低下も懸念されています。社会全体で需要が高まる生物多様性情報の利用と、衰退が懸念される現場調査のキャパシティのギャップを解消することを目指し、淡水魚類調査ブートキャンプを開催します。

本企画は、生物多様性観測の基礎となるフィールド力やデータマネジメント力の向上、ネットワークづくりを目的としたイベントです。

主催：日本生物多様性観測ネットワーク(JBON)
共催：琵琶湖博物館、国立環境研究所

申し込みはこちら



<https://forms.office.com/r/ng7ajDu2i8>



本イベントは座学と講習を組み合わせた二日間のプログラムです。多彩な講師陣を迎え、現場での生物調査から、生物多様性情報の活用や世界への発信まで一気通貫した学びを提供します。

これにより、各地で実施される生物多様性観測の維持と発展に寄与する人材の育成を促し、ネイチャーポジティブ社会の実現に欠かすことのできない生物多様性情報の長期的な蓄積と活用の促進を目指します。



細谷和海
近畿大学名誉教授



中島 淳
a.k.a. オイカワ丸



川瀬成吾
琵琶湖博物館



田畑諒一
琵琶湖博物館



三橋弘宗
兵庫県立人と自然の博物館



海老原 淳
国立科学博物館



金尾滋史
琵琶湖博物館

プログラム

1日目

開場:9:30
開会:10:00

座学:10:15~12:30

- ・GBIFへの道 (海老原 淳)
- ・淡水魚類学事始め (細谷和海)
- ・琵琶湖の魚類の進化史 (田畑諒一)

実技講習:13:30~17:30

- ・投網陸打ち (講師 オイカワ丸・金尾滋史)
- ・標本作製 (講師 川瀬成吾)
- ・プラスティネーション (講師 三橋弘宗)

2日目

同定講習:10:15~12:15

- ・形態形質の見方と種同定 (講師 細谷和海 ほか)

データマネジメント講習:13:30~14:30

- ・DarwinCoreとTIPs (講師 三橋弘宗)

モニ1000やJBONの紹介

閉会:15:00

